

平成28年6月定例記者会見

日時 : 平成28年6月21日(火) 13:30~

場所 : 本学事務局3階第1会議室

内容 :

1. オープンキャンパスの開催について

入試課長 中野 俊彦

2. 学部第3学年入試(学力)について

入試課長 中野 俊彦

3. 技術開発センタープロジェクト

成果報告会『知の実践』について

技術開発センター長 山口 隆司 教授

4. 大学発ベンチャー『株式会社TOFFEE』の設立について

技術科学イノベーション専攻 中川 匡弘 教授

5. NHK学生ロボコン2016

ABUアジア太平洋ロボコン代表選考会への出場について

ロボコンプロジェクト

プロジェクトリーダー 機械創造工学課程4年 塩谷 昌行

チームリーダー 電気電子情報工学課程4年 村木 孟

以 上

2016オープンキャンパスについて

高校生及び高専生等に対して進路選択の参考となるように、研究室公開、学生による各課程の紹介、学生宿舎見学等、多数のイベントを用意して、積極的に本学の情報を提供することを目的に2016オープンキャンパスを下記のとおり開催します。

記

1. 開催日時

平成28年8月6日（土）10時00分～15時30分

2. 場所

本学講義棟、公開研究室、図書館、テクノミュージアム、宿舎

3. 参加対象者

高等学校の生徒、高等専門学校 of 学生、短期大学の学生、専修学校の学生、中学校の生徒、上記学校の進路指導担当教員、保護者等、進学関係者等、その他

4. イベント内容

約70の研究室公開、OB/OGによる就活体験談、学生による各課程の紹介、入試・生活・授業なんでも相談、学生による相談・質問コーナー、学生宿舎（男子・女子）の見学、図書館の見学、テクノミュージアムの見学

5. 臨時バスの運行

長岡駅大手口、新潟駅南口、新発田駅（新発田東公園前）、村上駅前臨時バス乗り場、上越妙高駅西口から無料バスを運行（往路・復路）

6. 申込方法

大学ホームページ、携帯サイトからお申込みいただけます

7月25日（月）までにお申し込みください

平成28年6月21日

報道機関各位

長岡技術科学大学

平成29年度第3学年（学力）入学者選抜試験について

本学の入学者選抜試験の実施に際しましては、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、標記試験が、平成28年6月25日（土）、26日（日）の2日間にわたり、本学で実施されますのでお知らせいたします。

記

1. 試験日時

| | | |
|----------|---------|------------------|
| 6月25日（土） | 国語（日本語） | 9：00～10：20（80分） |
| | 英語 | 11：00～12：20（80分） |
| | 数学・応用数学 | 13：30～15：00（90分） |
| | 志望課程別科目 | 15：50～17：20（90分） |
| 6月26日（日） | 面接 | 9：00～ |

2. 募集人員、志願者数

| | 募集人員 | 志願者数 |
|---------------|------|------|
| 機械創造工学課程 | 40人 | 127人 |
| 電気電子情報工学課程 | 40人 | 152人 |
| 物質材料工学課程 | 19人 | 107人 |
| 環境社会基盤工学課程 | 24人 | 59人 |
| 生物機能工学課程 | 20人 | 71人 |
| 情報・経営システム工学課程 | 14人 | 36人 |
| 計 | 157人 | 552人 |

（うち県外者474人）

<本件担当>

長岡技術科学大学 学務部 入試課 入学試験第1係

TEL 0258-47-9271, 9273

平成28年度 長岡技術科学大学技術開発センタープロジェクト成果報告会
「知の実践」の開催について（ご案内）

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご案内いたします。

記

1. 日 時 平成28年 7月 8日（金） 13時30分から15時30分
2. 場 所 長岡技術科学大学 マルチメディアシステムセンター
3. 開催趣旨 技術開発センターの研究活動の一環として、プロジェクト参加企業から、本学との共同研究により得られた成果を広く社会に発表することにより、技術の実用化を促進させることを目的とします。
4. 日 程
 - 13:30 開催の挨拶（5分） 長岡技術科学大学学長 東 信彦
 - 13:35 技術開発センターの紹介（15分）
技術開発センターセンター長 山口 隆司
 - 13:50 「小型バイナリー発電システムの実用化開発」（30分）
池田 博史 氏 木村化工機株式会社 開発部 部長
 - 14:20 「排水処理管理の技術向上に伴う環境負荷低減と
技術転用の可能性」（30分）
中村 稔 氏 株式会社昭和興業 代表取締役 社長
 - 14:50 「未利用地下水を活用した水供給システムの開発」（30分）
藤田 昌一 氏 株式会社東京設計事務所
技術相談室長・特任理事
 - 15:25 閉会の挨拶（5分）
長岡技術科学大学 理事・副学長 三上 喜貴
 - 15:30 終了

【本件事務担当】

国立大学法人長岡技術科学大学 総務部産学・地域連携課 産学・地域連携係
TEL 0258-47-9278 FAX 0258-47-9040
E-mail sangaku@jcom.nagaokaut.ac.jp

大学発ベンチャー株式会社 TOFFEE 設立

技術科学イノベーション専攻 中川 匡弘

1. 会社設立までの経緯

発表者はこれまでに、脳波を活用してリアルタイムで“今、この人は何を感じているか”を計る感性計測・解析・評価に関するノウハウを構築してきました。こうした技術をものづくりに還元することで、“感性”という新しい価値を付加した製品（人間が感覚的に“良い”と思える製品）を創り出すことに成功し、多数の企業から受託研究を受け、様々な製品を世に送り出してきました。そして平成25年、文部科学省の「大学発新産業創出拠点プロジェクト(START)」(平成27年度からは「大学発新産業創出プログラム(START)」として科学技術振興機構が実施)に採択(右表参照)されたことを機に、発表者の研究開発技術と事業プロモーターユニットである野村ホールディングス株式会社の事業化ノウハウが組み合わせられ、平成28年4月に株式会社 TOFFEE (トフィー) (以降、当社と称す)は誕生しました。

表 発表者の START 事業における採択プロジェクト

| | |
|------------|-----------------------|
| 研究開発課題名 | スマートセンシングを用いた感性計測装置 |
| 研究代表者 | 中川匡弘 (長岡技術科学大学・教授) |
| 代表事業プロモーター | 濱田隆徳 (野村証券株式会社・次長) |
| 研究開発実施期間 | 平成25年12月1日～平成28年3月31日 |

2. 事業概要

[新たに開発した感性計測装置 \(写真\) ^{※①}を用いて、](#)

[11件の特許群を活用 ^{※②}し、多岐にわたる事業を展開 ^{※③}いたします。](#)

※①写真は、当社の“核”ともいえる感性計測装置です。従来のものと比較して、優れた精度と広い適用範囲が証明されました。さらに、小型化・軽量化を実現し、装着性・携帯性に特化させたことで、事業ターゲット層を大幅に広げる事に成功しました。“いつでも・どこでも・もっと身近に” 感性計測を体感できるよう、将来的に24時間のオンラインサービスにも対応させます。

※②当社の技術は、発表者の発明による特許群を活用した他にはない新技術です。本技術は、10人程度の調査で1000人規模のアンケート調査と同等な分析を可能にしました。さらに、その結果をリアルタイムで得られるという点は、本技術の大きな特徴であり強みともいえます。

※③市場規模は、感性計測のみでも100億円以上と言われ、脳波に関連するデバイスまで含めると1,000億円以上の規模が想定されています。今後は、製品開発事業の拡大を目指すと共に、スマートハウス事業や入力デバイス事業、ウェアラブル、ヘルスケア事業などを展開していく予定です。

(http://www.toffee.jp/pamphlet_dl.phpにて当社のパンフレットがご覧になれます。)



写真 事業展開に向けて開発した感性計測装置

NHK 学生ロボコン 2016 ABU アジア太平洋ロボコン代表選考会への出場について

長岡技術科学大学
機械創造工学課程 4 年
塩谷 昌行

1. 概要

私たちロボコンプロジェクトは、5 月上旬に行われたビデオ審査を通過し、NHK 学生ロボコン 2016 本大会に出場することが決定しました。

2. ロボコンプロジェクトとは

本プロジェクトは ABU ロボコン (Asia-Pacific Robot Contest) に出場し、優勝することを目標として設立された学生プロジェクトで、正式名称は「長岡技術科学大学ロボコンプロジェクト」です。

設立は 2001 年で、2016 年現在にいたるまで NHK ロボコンへ出場し、優秀な成績を収め続けています。以下に実績を記します。

- 2011 年度 大学ロボコン 準優勝
- 2012 年度 大学ロボコン ベスト 4・アイディア賞
- 2013 年度 大学ロボコン ベスト 4・技術賞
- 2014 年度 大学ロボコン 準優勝・特別賞
- 2015 年度 学生ロボコン ベスト 16・特別賞

また、各種イベントへのロボットの出展・見学会対応も積極的に行っており、昨年度は技大祭や高校生向けの見学対応を行い、今年度は本学と J E T R O・国際大学と包括連携に関する協定の締結式にてロボットパフォーマンスを行いました。

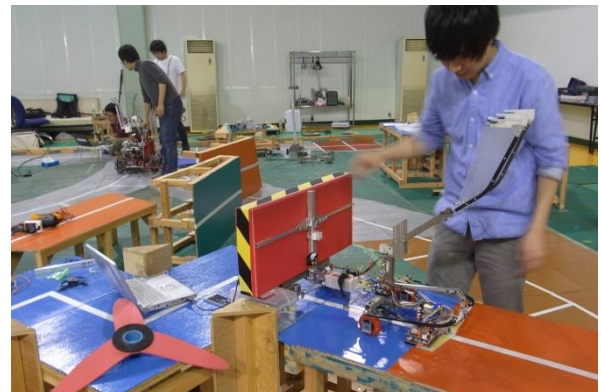
3. NHK 学生ロボコン 2016 出場

このたび 2016 年度チーム「Team-eNUTs」では競技に使用する 2 台のロボットを製作し、3 度ある審査を通過し、大会への出場権とシード権を獲得しました。

現在はさらなるタイムの短縮を目指し、ロボットの調整と競技練習を進めています。大会まであと 2 週間あまりとなりましたが、大会で優勝を収め、世界の舞台へ挑戦する切符を手に入れるべく日々精進しています。



左写真：製作中のロボットとメンバー



右写真：調整中の風景

ロボコンプロジェクトHP：<http://mcweb.nagaokaut.ac.jp/robocon/>